

平成23年行政事業レビューシート

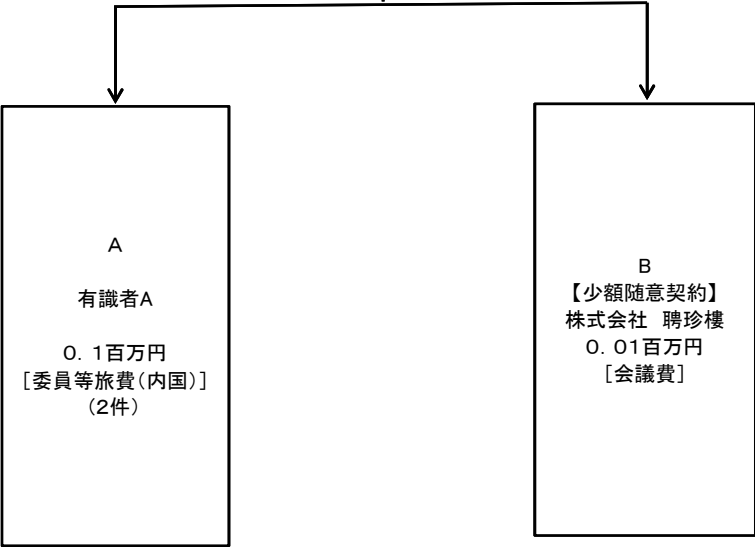
(外務省)

事業名	国際協力に関する有識者会議開催に必要な経費		担当部局庁	国際協力局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成19年3月～平成22年度		担当課室	政策課		課長 鈴木 量博			
会計区分	一般会計		施策名	VI－1 経済協力					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第一項1号(ハ)及び24号		関係する計画、通知等	－					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際協力に知見を有する有識者の声を政策に反映させるため、外務大臣からの諮問を受け、国際協力の基本政策について幅広い視点から討議及び提言を行い、戦略性と効率性を重視した国際協力を促進するために開催する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「有識者会議」は開発専門家、国際機関実務者、言論界、産業界、NGO等の14名の委員で構成され、平成19年度から2年間活動し、平成20年度に任期を終了した。「有識者会議」を改組し、引き続き国際協力の基本政策について議論して頂く予定であったが、ODAのあり方に関する検討会の中で、今後の「有識者会議」のあり方も検討され、開発協力の基本政策について幅広い視点から討議を行う場として「開発協力フォーラム」を設置することとされた。「開発協力フォーラム」第1回は、平成22年度第4四半期(3月16日)に開催予定であったが、東日本大震災発生の影響で中止となった。平成23年度より「開発協力フォーラム開催に係る経費」へ移行した。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	5	6	5	－	－		
		補正予算	－	－	－	－			
		繰越し等	－	－	－	－			
		計	5	6	5	－	－		
	執行額		4	0.1	0.1				
	執行率(%)		73.7%	5.5%	2.5%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	学界、言論界、経済界、NGOからの有識者により、適切な政策課題について意見交換を行い、政策立案に反映させるため報告書を毎年とりまとめ、政策立案に反映、実現させる。			成果実績	－	100%	0	0	
	単位:政策立案への反映等			達成度	%	100%	0	0	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	会合の開催件数 (注)平成22年度により幅広い視点から討議を行う場として「開発協力フォーラム」に発展的に解消することが決定。3月に第一回を開催予定であったが震災の影響で中止となった。			活動実績 (当初見込み)	開催数 (回)	12	0	0 (開発協力 フォーラムへ発 展的解消) (6) (ー)	－
単位当たり コスト	(円／)			算出根拠					
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	－	－	－	平成23年度より「開発協力フォーラム開催に必要な経費」へ移行。					
	計	0	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度は「有識者会議」より「開発協力フォーラム」へと発展的に改組するため、その検討に多くの時間を費やした。また、第4四半期(3月16日)に「開発協力フォーラム」を開催予定であったが震災の影響により中止となった。		
予算監視・効率化チームの所見			
		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		—	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省
0. 1百万円
[国際協力に関する有識者会
議開催に関する経費]



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A. 有識者			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B. 株式会社 聘珍樓			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有識者A	国内旅費(2件)	0.1	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社 聘珍樓	会議費	0.01	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					